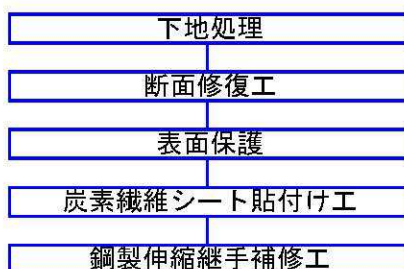


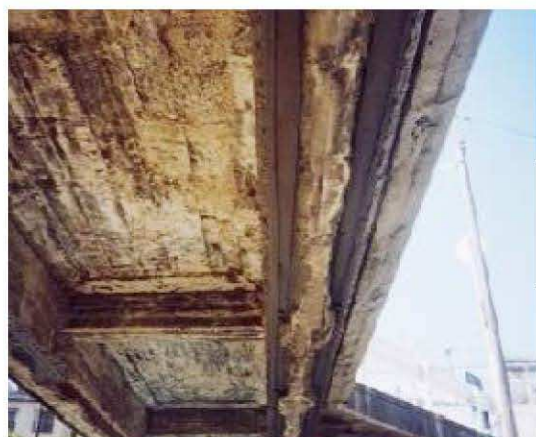
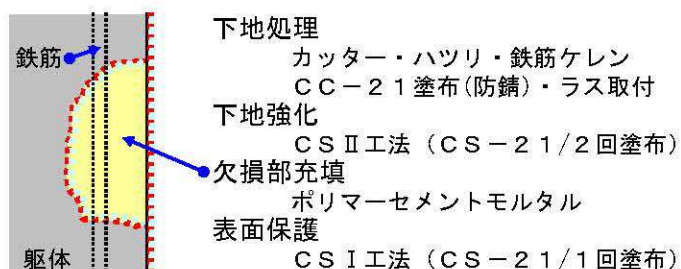
橋梁改修工事

竣工から約50年経過した道路橋（SRC造）において、漏水および中性化による鋼材・鉄筋の腐食、かぶりコンクリートのはく落が発生し、全面改修工事が発注された。
CS-21により断面修復時の下地強化および修復材（ポリマーセメントモルタル）の表面保護を行い、CC-21により鋼材・鉄筋の防錆を行った。
施工完了後、漏水箇所も無くなり、断面補修材の圧縮強度および付着力ともに所定以上の結果が得られた。

施工概要



CS-21工法 施工概要図・施工手順



施工前



施工後

追跡調査

外観調査ではジョイント部の一部を除き、漏水は確認されなかった。躯体表面に白華現象が見られるが、これは漏水によるものではないため、カルシウム分とCS-21の反応による不溶性の結晶と考えられる。また、打音調査においても浮きなどの不具合は確認されず、経過は良好であった。

追跡調査年月：平成18年7月（6年5ヶ月経過） 確認方法：目視・打診



全景



下面拡大：漏水・浮き共になし

橋梁改修工事 追跡調査

外観調査ではジョイント部の一部を除き、漏水は確認されなかった。躯体表面に白華現象が見られるが、これは漏水によるものではないため、カルシウム分とCS-21の反応による不溶性の結晶と考えられる。また、打音調査においても浮きなどの不具合は確認されず、経過は良好であった。

追跡調査年月 平成15年 5月 (施工後3年3ヶ月経過)
確認方法 目視・打診



全景



橋上部



下面：漏水・浮き共になし



下面拡大：漏水・浮き共になし

追跡調査年月 平成18年 7月 (6年5ヶ月経過)
確認方法 目視・打診



全景



下面拡大：漏水・浮き共になし